

Splunk IT Service Intelligence

AI Opsでサービスのパフォーマンスを維持

- **パフォーマンスと可用性の維持**：予定外のダウンタイムを60%削減
- **IT管理の効率化**：アラートのノイズを95%低減、MTTRを90%短縮
- **エンドツーエンドでのサービスの可視化**：サービスの品質低下を30分前に防止、インシデント総数を45%削減



組織のデジタル化が進み、環境が複雑化する中で、ITチームはビジネスクリティカルなサービスのサポート強化を迫られています。従来のIT運用ツールでは、こうしたハイブリッド環境を十分に管理できず、ビジネスニーズに効果的に対応できません。Splunkは、今日のビジネスクリティカルサービスやハイブリッド環境に求められる俊敏性、スピード、可視性を実現します。

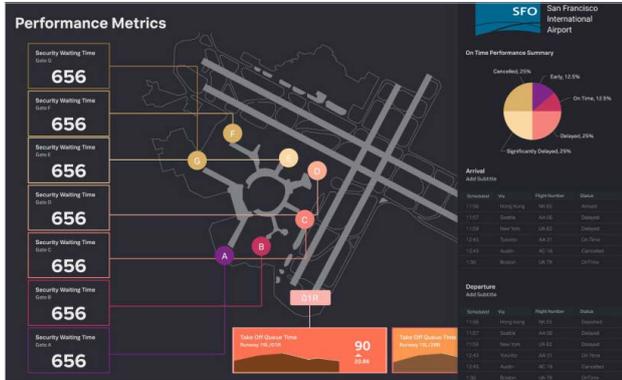
Splunk® IT Service Intelligence (ITSI)は、顧客に影響が及ぶ前にインシデントを予測して対応するための分析およびIT管理ソリューションです。監視対象のシステムから収集したデータを相関付け、機械学習によるインテリジェンスを適用して、サービスを360度可視化し、予測分析と効率的なアラート管理を実現します。

ITSIは、Splunk EnterpriseとSplunk Cloudを前提としたプレミアム製品です。ITSIでは、予測機能を取り入れたリアルタイムのパフォーマンスダッシュボードでサービスの健全性を監視できるだけでなく、VictorOpsやPhantomなどのITサービス管理(ITSM)ツールやオーケストレーションツールと統合することでインシデントを一元的に監視、検出、対応、解決することもできます。

コストの最適化	運用の効率化	ビジネス効果
<p>米国ルイジアナ州</p> <p>行政、立法、司法サービス</p> <p>ルイジアナ州は、20のIT部門と個別のレガシーシステムを統合しました。IT運用をモダナイズすることによって、ランセンスおよびメンテナンスコストを7,000万ドル削減しました。</p>	<p>Leidos社</p> <p>防衛およびテクノロジー分野をリードするフォーチュン500企業</p> <p>Leidos社は、120のサービスと20の管理システムを管理するためにSplunkを導入しました。その結果、アラートノイズを98%低減し、1日あたり3,500件のイベントを50件の実行可能チケットに集約することができました。</p>	<p>TalkTalk社</p> <p>英国通信・接続プロバイダー</p> <p>400万人の顧客を抱え、1日あたり600万件のテストを実行するTalkTalk社は、数百のメトリクスをリアルタイムで監視できるパフォーマンス監視ソリューションを探していました。Splunkを導入した結果、1年を待たずに顧客サービスが改善し、ネットプロモータースコア(NPS)が22ポイント上昇しました。</p>

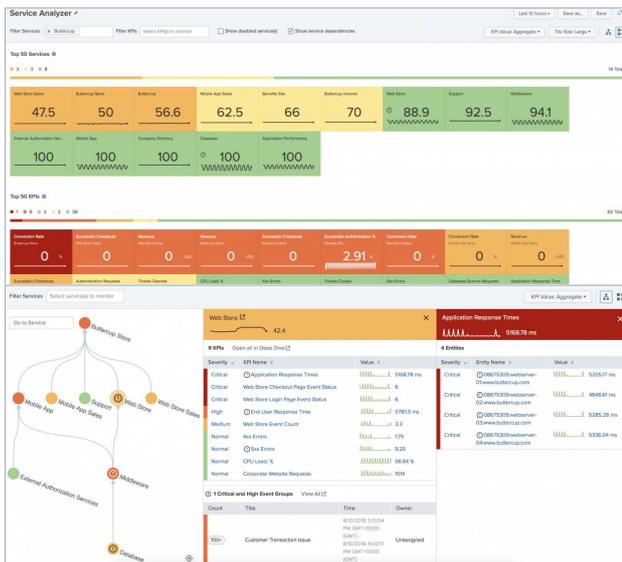
グラステーブル

サービスの健全性を追跡する事前構築済みまたはカスタムのダッシュボードで、業務運営とともにパフォーマンスを監視できます。



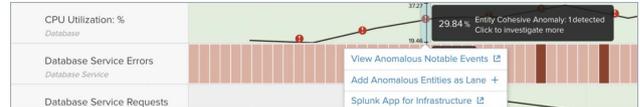
サービスアナライザダッシュボード

サービスとその基盤となるインフラストラクチャの相関関係をタイル表示またはツリー表示で視覚的に把握できます。コードレベルまでドリルダウンすることで、サービス監視ダッシュボードから直接、根本原因を調査することもできます。



異常検出

履歴データに基づいて、1つまたは複数のイベントの予期しない動作についてアラートを生成します。パターンはリアルタイムで継続的に更新されます。



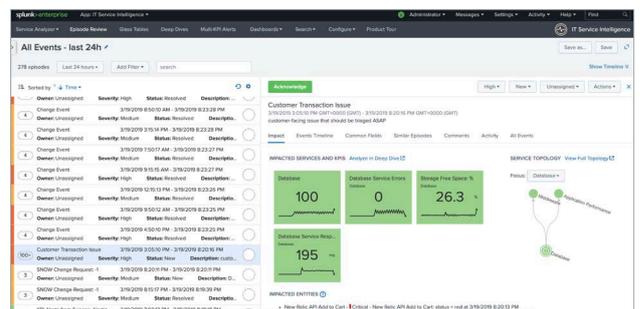
サービスの詳細

複数のサービスを横に並べて表示し、メトリクスを経時的に相関付けて、根本原因を特定できます。



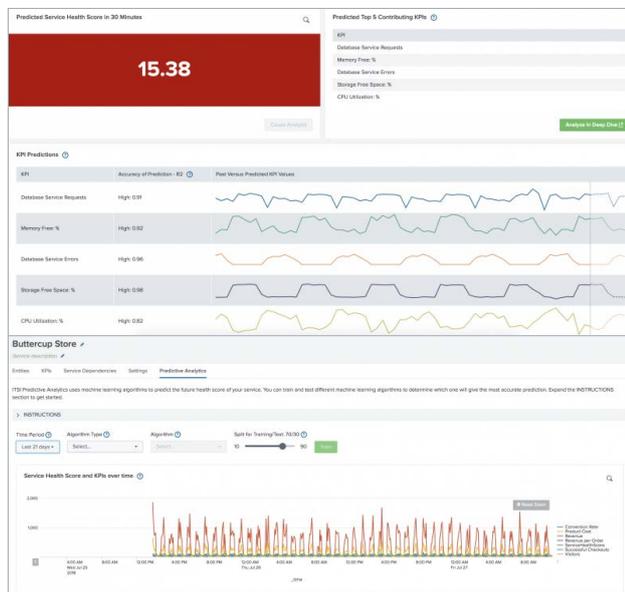
インテリジェントなイベント管理

複数のソースからイベントを収集し、情報を補強して、単一のアラートフレームワークにまとめます。システムにデータが入力されると、リアルタイムのイベント相関付けを自動実行してアラートを生成すると同時に、あらかじめ定義された機械学習ポリシーを適用してノイズを即時に低減します。インシデントはサービスのスコアと影響度に応じて自動的に優先順位付けされます。



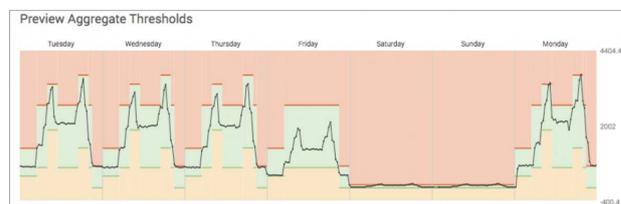
予測分析

機械学習アルゴリズムとサービスの健全性スコア履歴によって、インシデントの発生を30分前に予測します。影響が大きい上位5つのサービスメトリクスが表示され、トラブルシューティングをサポートします。



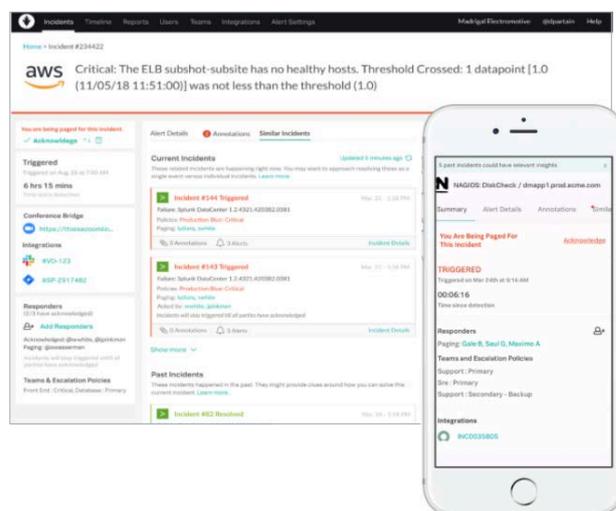
固定しきい値と適応しきい値

固定または適応しきい値を設定して、動作が正常な状態から逸脱したときのみアラートを生成できます。適応しきい値では、機械学習アルゴリズムによって観測された動作に基づいてしきい値が自動的に更新されるため、常に最新の判断でアラートを生成できます。



外部ITSMツールとの統合

サービスチケットの作成、オンコール対応、自動化プレイブックをインシデントレビューから直接実行して、インシデントをすばやく解決できます。



Splunk IT Service Intelligenceの詳細はこちらからご確認ください。また、Splunkは無料でダウンロードしていただけます。



営業へのお問い合わせはこちら：https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html
〒100-0004 千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 8階

www.splunk.com/ja_jp
splunkjp@splunk.com